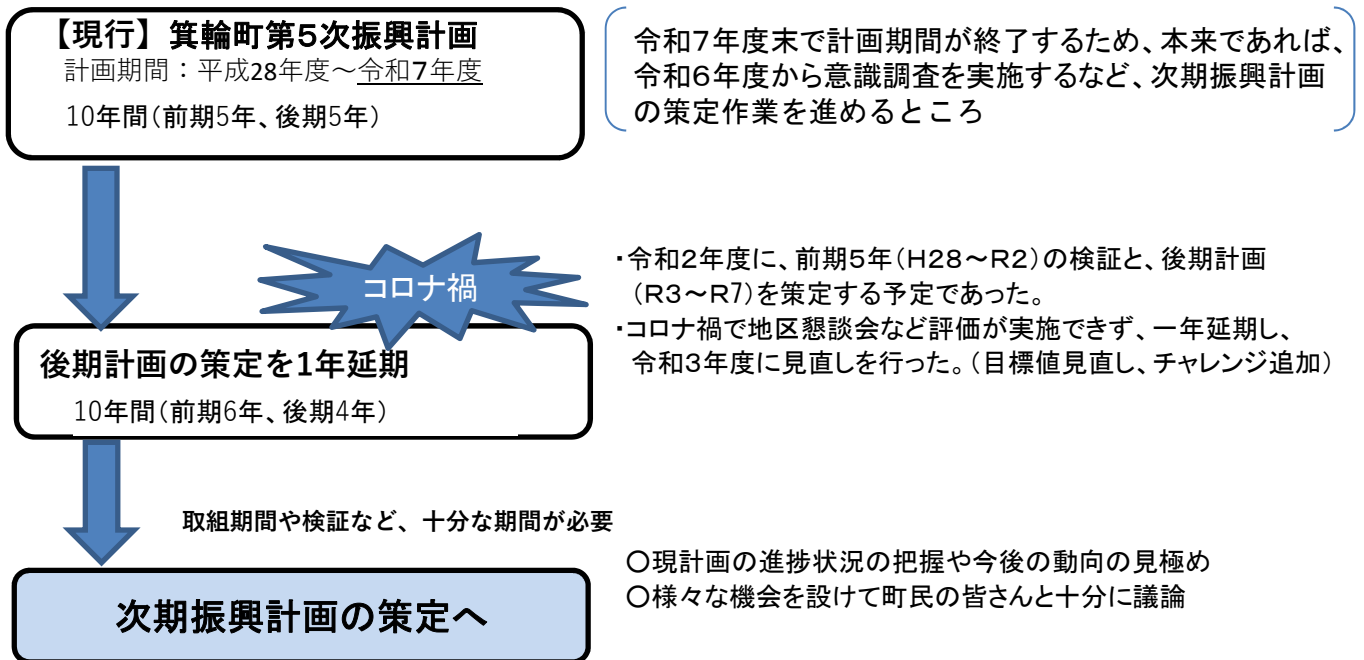


箕輪町第5次振興計画の期間延長等について

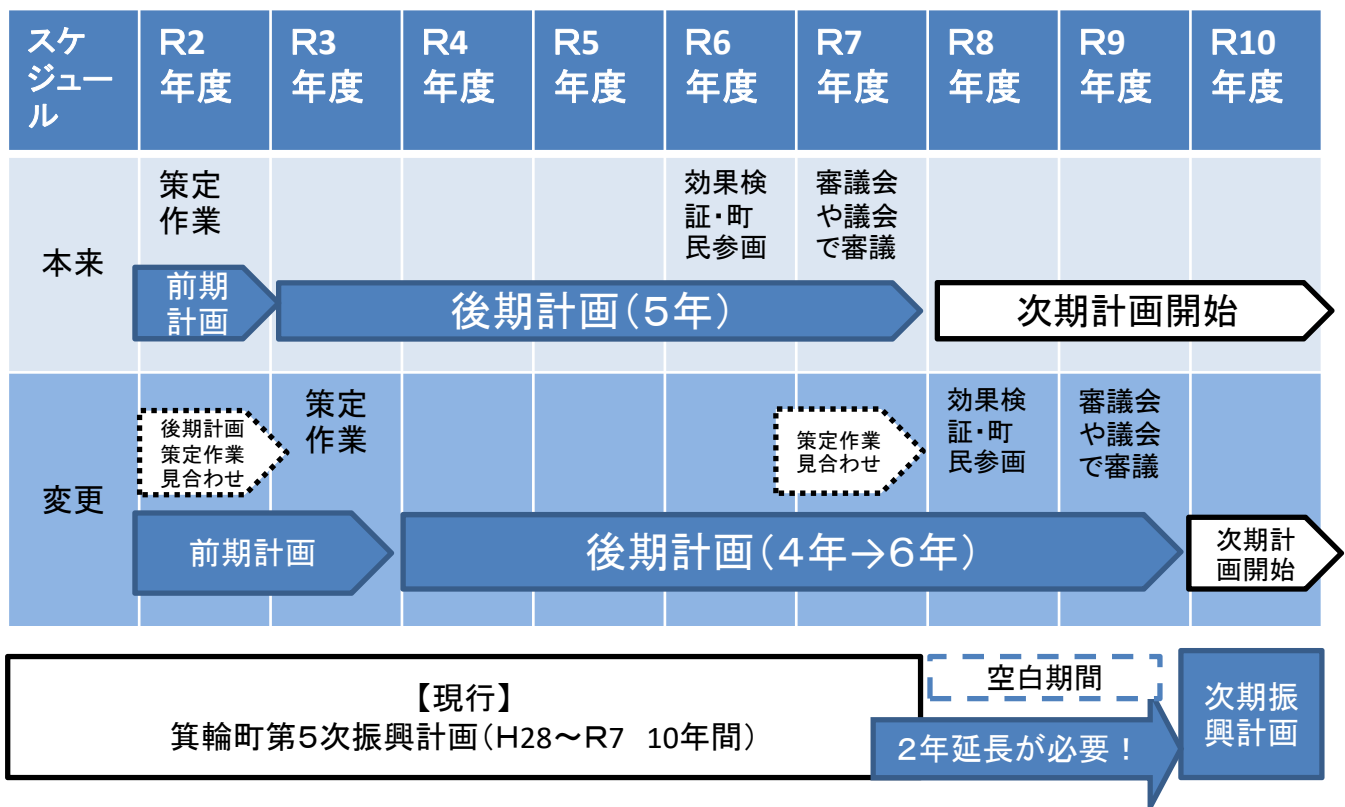
1. 総合計画とは

- 町政の最上位に位置付けられる、まちづくりの根幹となる計画です。
- 現行の第5次振興計画は、平成28年度を開始年度として策定されたものです。
(第5次振興計画P5参照)

2. 次期総合計画の策定に向けて



当初のスケジュールを2年後ろ倒しし、令和8年度から次期総合計画の策定作業に着手したい



3.箕輪町第5次振興計画の期間変更にあたって

(1)第5次振興計画内容への影響

①コロナ禍や近年の社会情勢による影響・変化

コロナ禍による影響のほか、近年の社会情勢等によって生じた変化として、次のようなキーワードが挙げられるが、後期基本計画策定時(R4)に反映済み。

キーワード	計画への反映
デジタル化の加速、DX	・行政・教育のデジタル化、デジタルデバйд対策 ・イベントや相談・手続き等のオンライン化
多様性社会、ジェンダー平等	・男女共同、ジェンダー平等の推進 ・多様性の理解への推進
ゼロカーボン、SDGs(R7年度未来都市に選定)	・SDGsを原動力とした地方創生の推進 ・ゼロカーボン社会の実現

②振興計画(後期基本計画)に掲げる指標への影響

以下の2つのチャレンジ目標については後期基本計画策定時に現状値を踏まえて見直し済み。後期計画策定から4年目であり、現状値との乖離はない。

特に目標②人口規模については、R7人口ビジョンの改訂を行ったが、大きな影響はなく、現在実施中の国勢調査の結果により検討が必要

目標	開始時 (H26)	後期見直時 (R3)	現状値 (R6)
①住民満足度 75%以上	66.1%	79.5%	78.7%
②人口規模 24,500人	25,560人	24,630人	24,273人

(2)第5次振興計画の変更の方向性

①基本構想

- ・基本構想は、町の将来像やまちづくりの理念、まちづくりの基本目標など、まちづくりの大きな方向性について、長期的な視点で、町民の皆さんと議論した上で決定したもの
- ・社会情勢や取組内容を鑑みても、まちづくりの方向性を大きく変える必要はない時期にある。
- ・令和7年度の国勢調査結果なども反映した計画とする必要もある。

➡ 計画期間のみを変更(2年延長)する。

②基本計画

- ・基本計画は、基本構想を実現するための施策を示すとともに、その達成度を評価するための指標を定めるもの
- ・後期基本計画策定から4年目、取組期間や効果検証の期間が必要である。

➡ 計画期間のみを変更(2年延長)する。

③実施計画

- ・実施計画は、基本計画で定めた施策を推進するための事業(重点的取組事業や主要事業)を示すものであり、毎年、ローリング方式で見直しを実施している。

➡ 引き続き毎年見直しを行う。

★第5次振興計画の変更イメージ

